

山寺通信

鶏谷山花栄寺だより

今号の記事：

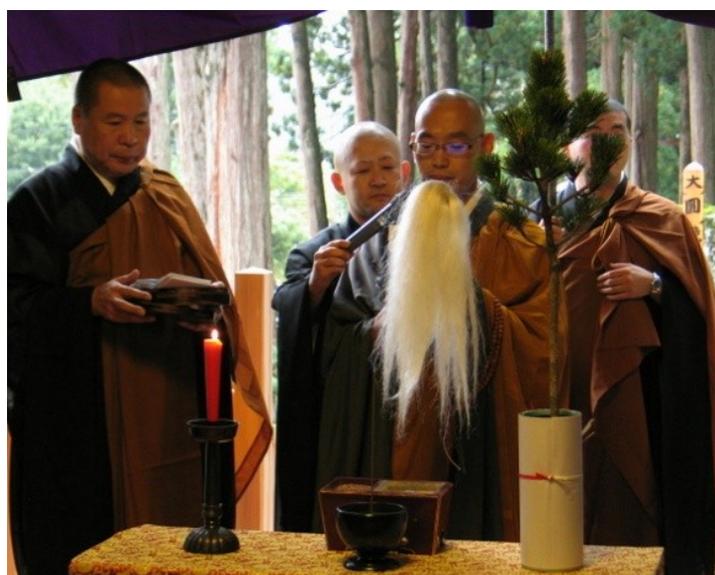
- 表面：晋山結制厳修される
- 裏面：晋山結制フォトアルバム

晋山結制厳修される



緊張がゆるみ、ふと和やかな笑顔がこぼれる

去る10月10日、当山25世随應好信大和尚33回忌、26世天真慧明大和尚退董式、27世諦幸悠禅和尚晋山式、晋山結制、法戦式の各法要が営まれました。台風が迫っておりましたが、当日は朝のひと時雨が残ったもののその後はからりと晴れ上がり、穏やかな好日となりました。午前8時から半日間にわたる長時間の儀式で、参詣された方はお疲れだったことと思います。心からご慰労申し上げます。70名を超す皆様の御参詣を頂き、大いなる祝福の内に儀式を終えることができました。事前の準備段階からお力添えを頂いた皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



本堂入り口で法語を唱える新命悠禅和尚

晋山結制フォトアルバム



左：晋山式に向
から新命住職一行。
安下処の力石陽一
氏宅を出発し、徒
歩で晋山(しんさ
ん)した。

右：先住忌導師
を勤める本寺・普
広寺(市内北条)新
住職の榎東佑老師。



右：首座法戦式の一こま。
修行僧のリーダー役・首座
(しゅそ)は東福院 根津亮
弘老師の御子息 大悟さん。
住職から竹篋(しっぺい)
が手渡されるところ。竹
篋は仏の智慧を象徴する
法具である。首座はこれ
を手に持ち、他の修行僧ら
と問答が繰り広げられた。



上：30年間の住職生活に慰労の言葉と
花束がおくられた。

右：参詣者にあいさつをする前住職。今
後は「東堂(とうどう)」という役に就き、相
談役としてお寺を見守って下さる。



〈オマケ〉晋山の先導は、木沢神楽舞
の衣装を着た長女多映が務めました。